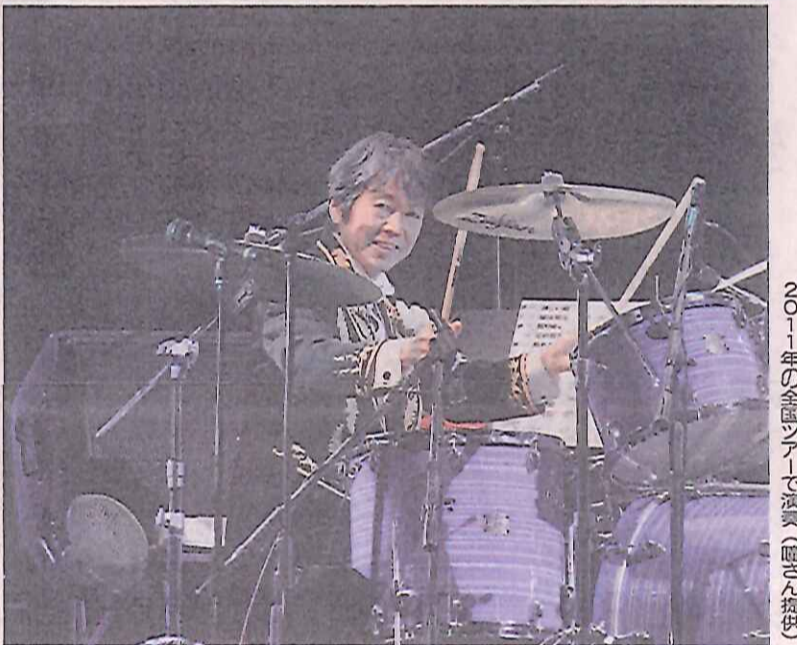


ひとみ 瞳みのるさん

# 44年ぶり復活のザ・タイガース ドラムス

## ひと ワイド



2011年の全国ツアーで演奏(瞳さん提供)

# 5人のサウンドへの思い

ザ・タイガースが復活しました。1960年代後半、洗練されたギター、ドラムと歌唱でグループサウンドの頂点に立った音楽バンド。5人がそろったのは実に44年ぶりです。師走の全国ツアー、27日の東京ドーム公演が打ち上げでした。ピロ「この瞳みのるさんのしなやかで澄んだドラムスが会場に響きました。」

「正直ほっとした。でもタイガースを結成。少し遅い時期にああ演奏しておけば、ボーカーの沢田研二さま……という悔いもある。5人が参加します。僕は小公演はこれが最後かなという思いも頭をかすめる。うっ、指が少し不自由。そ、京都市生まれ。65年、半なこともあってドラム校仲間だった岸部おさみに。なかにスティックと、(現・一徳)さん、森本太、台の上に敷く雑巾さえあれ、郎さん、加橋かつみさんと練習できますから」

68年秋に上京。直後から「シーサイド・サウンド」「花の首飾り」など立て続けに大ヒットを飛ばしました。音楽路線をめぐる微妙な違いがきっかけで加橋さん

が69年に脱退。瞳さんも「かわい子」調の歌ばかりでバラエティ番組でさげさせられるという使用方に、強い疑問を感じていました。

2008年、そんな瞳さんの目に「ロング・グッバイ」

67歳を迎えた新しい年。「日中の音楽交流史の探求を進めたい。日中関係は複雑ですが、長期的な目で、国民レベルでの友好を強めていこう」と何よりも大切だと思えます

「いいのか」と。時には「イ」という曲が聞かなくて『搾取だ』という言葉も使った。岸部・沢田・森本……。ほぼ50年前を振り返り、瞳さんに向けて「高校(府立山城高校)定時制では、社会科学部研究。会や民青(民主青年同盟)にも入ってましたからね。もう時効かな、と。少し照れくさそうなきやうな笑みを浮かべました。3人の呼びかけに「11年秋からの「沢田研二全」に「僕も加橋と長時間話し合いましたよ。もうやめてください」

# 馬

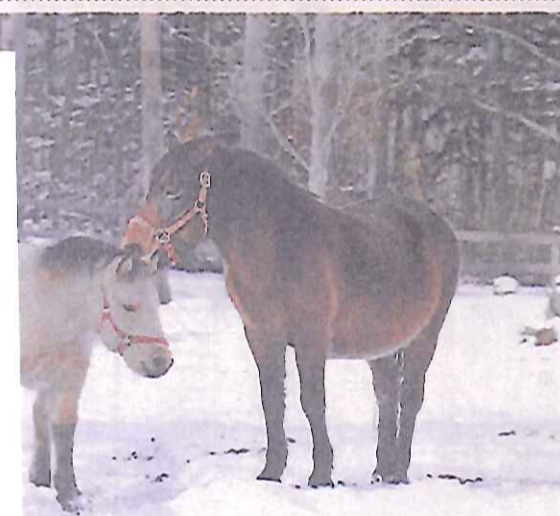
## 癒やされ心も体も元気に



山梨・鳴沢  
今年の子やうは、馬が癒やされ、心も体も元気に。馬が癒やされる「ホースセラピー」が注目されています。

この乗馬会を通じて、馬の動きに合わせてバランスをとる全身運動なので、筋肉が自然と鍛えられて身体機能が回復するのです。障害のある人もない人も乗馬を通じて心と体の健康に

「た」と話します。東京の協会と日本障害者乗馬協会の会長を務める渡辺廣人さん(65)は「乗馬は馬の動きに合わせてバランスをとる全身運動なので、筋肉が自然と鍛えられて身体機能が回復するのです。障害のある人もない人も乗馬を通じて心と体の健康に



長野・木曾  
長野県木曾町開田高原で木曾馬を保存する「木曾馬の里・乗馬センター」は、現在31頭の木曾馬を飼育中。雪の高原で乗馬や馬そりに活躍します。